

6 ボクシング競技

1 主 管 徳島県ボクシング連盟

2 期 日 令和7年8月23日(土)・24日(日)

3 会 場 徳島県立吉野川高等学校 ボクシング場

〒776-0005 徳島県吉野川市鴨島町喜来 681 - 9 TEL : 088-24-2117

4 種別(種目)及び参加人数

種別	監督	選手	参加県数	小計	計	本大会参加県数
成年男子	1	5	4	24	60	2
少年男子	2	5	4	28		2
女子	1	1	4	8		1

注：少年男子監督2名のうち、1名はセコンド。

ただし、2名とも公益社団法人日本ボクシング連盟役員登録済みであること。

女子は、各ブロック予選大会への参加人数が多い上位3ブロックへ1枠ずつ割り振られるため、参加選手は最大2名となることもある。

5 競技上の規定及び方法

(1) 競技規則は、2025年度公益社団法人日本ボクシング連盟競技規則を適用する。

女子種別については、上記及び女子ボクシング実施基準による。

(2) 代表チームの編成は、成年 ライトフライ級からライトヘビー級までの8階級

少年 ピン級からミドル級までの8階級

女子 フライ級1階級

(3) 出場階級の選定は、全て異なった階級とし、種別毎の8階級のうち5階級に出場する。

(4) 競技はトーナメント方式で行い、3位決定戦は行わない。

(5) 愛媛県、香川県、徳島県、高知県の4県で競技する。

(6) 組合せ抽選は、健診計量後の監督会議終了後に行う。

(7) 競技時間は次のとおりとする。

種別	1 R	休憩	2 R	休憩	3 R
成年男子	3分	1分	3分	1分	3分
少年男子	2分	1分	2分	1分	2分
女子	3分	1分	3分	1分	3分

(8) 日 程

8月23日(土) 7:20～ スポーツエントリーチェック (吉野川高等学校)
7:30～ 健診・計量 (吉野川高等学校)
8:30～ 監督会議 (吉野川高等学校)
10:30～ 開会式 (吉野川高等学校)
11:00～ 競技(各階級1回戦) (吉野川高等学校)
※競技は女子種別、少年男子種別、成年男子種別の順に行う。

8月24日(日) 7:30～ 健診・計量 (吉野川高等学校)
10:30～ 競技(各階級決勝) (吉野川高等学校)
競技終了後 閉会式 (吉野川高等学校)

(9) 勝敗の決定方法 公益社団法人日本ボクシング連盟競技規則による。

6 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準
国民スポーツ大会ボクシング競技実施要項に準ずる。

7 参加申込方法

- (1) 所定のWEBページ(国民スポーツ大会参加申込み受付窓口)へアクセスし、必要事項を入力の上、所属県スポーツ協会を通じて **8月7日(木)午後5時まで**に申込み手続きを完了すること。
- (2) 締切期限以降は、所定のWEBページへアクセスできなくなる。締切期限を厳守すること。
- (3) 申込み後の選手並びに階級の変更は特別な事情がない限り認めない。
- (4) 特別な事情で選手を交替する場合は、8月12日(火)17時までに下記宛へ文書で届け出なければならない。
- (5) チーフセカンド・サブセカンドは、別添セカンド届出用紙に記入し、メールで下記まで申し込む。(成年男子、少年男子、女子) **※必須**
徳島県ボクシング連盟 事務局 千頭 卓也 宛
メール: ctkrr@ma.pikara.ne.jp TEL: 090-5276-5316

8 参加負担金
1県10,000円

9 競技得点算出方法

各種目(各階級)とも勝ち点1点、3位1点、2位3点、1位5点の競技得点を与え、上位2県が本大会の出場権を得る。なお、同得点の場合は優勝者の数によって順位を決定する。

10 宿泊

別紙申込書により、メールで下記まで申し込むこと。

【締切: 8月7日(木) 17時厳守】

徳島県ボクシング連盟 事務局 千頭 卓也 宛
メール: ctkrr@ma.pikara.ne.jp TEL: 090-5276-5316

11 参加上の注意

(1) 必ず個人で持参するもの

選手手帳、健康保険証、競技用具(ユニホーム、ヘッドギア、シューズ、ガムシールド、カッププロテクター(男子種別)、チェストガード(女子種別)、ローブローガード(女子種別)等)

ア ヘッドギア(少年男子種別、女子種別)

(a) 公益社団法人日本ボクシング連盟及び I B A の検定品マークのついているものであること。(ただし、日本製ウィニング社製は除く)

(b) 清潔で状態の良いものであること。

(c) コーナ一色のヘッドギア (赤色及び青色) を着用すること。

イ ユニホーム

(a) コーナ一色 (赤色及び青色) のものを着用すること。

(b) ベルトラインは、6 センチから 10 センチ幅の赤・青以外の色で明白に色別されていなければならない。

ウ ガムシールド

赤色及び赤色系統の色が含まれたガムシールドは使用できない。

エ カッププロテクター及びローブローガード (女子種別) 標的領域 (ターゲットエリア) を覆ってはならない。

オ チェストガード (女子種別) 注: 装着は任意とする。

- (2) 刺青に関してはその大小、場所を問わず、またシールによるものであっても出場の資格を失う。
- (3) 日本連盟指導事項 (顎髭、頭髮、染色) について事前に確認して大会に臨むこと。(違反者は失格とする) 前項の根拠として、(公益社団法人日本ボクシング連盟医事ハンドブック 衛生規則 10-2~10-4)

①毛髪等

(イ) 前額部を覆う長髪は視野を制限し、眼球傷害を引き起こしてしまう。長髪の場合は、ヘッドガードを使用する競技ではスイミングキャップを使用し、男子成年の場合はヘアゴムを使用して毛髪が目に入らない様にしなければならない。ヘアピンなどのアクセサリは使用してはならない。

(ロ) 10cm 以下で首にかからない長さの顎髭、マウスピースを確認できる長さの口髭で競技に参加することができる。

- (4) プロ主催の競技会に参加し、金品を受け取る等、アマチュア資格に反している者は参加を認めない。
- (5) 上記以外の競技規則については、公益社団法人日本ボクシング連盟の規則と同様とする。また、上記事項に抵触した場合、出場を認めないことがある。その判断は、当大会の主催者である四国ボクシング連盟が行う。
- (6) 競技中の疾病、負傷等の応急措置は主催者が行うが、以降の責任は負わない。
- (7) 選手手帳は大会日数分の記載欄があるもので、写真が貼付されているものであること。なお、会場地での選手手帳の発行は一切行わない。
- (8) 監督・セカンドは、公益社団法人日本ボクシング連盟令和7年度の役員登録済みの者であること。セカンド (チーフセカンド、サブセカンド) については、「公認セカンドに関する規程」に基づく。
- (9) その他については、公益社団法人日本ボクシング連盟医事ハンドブック及び公益社団法人日本ボクシング連盟競技規則に基づく。